奨 学 金 継 続 願(奨学生用)

公益財団法人玖珠郡育英会理事長 殿

平成　　年　　月　　日

次年度の奨学貸与金の継続を希望したいので、下記のとおり報告いたします。

<table>
<tr><td colspan="4">【学校名】
大学
高等学校
専修学校　　学部　　学科
年</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">奨　学　生　番　号</td><td>ﾌﾘｶﾞﾅ</td><td></td><td rowspan="2">印</td></tr>
<tr><td></td><td>氏　名</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">本人記入</td><td>返還の義務</td><td colspan="3">この奨学金制度は、向学心にあふれ意欲と能力のある皆さんが、自らの意思と責任により学生生活を送れるよう支援するものです。
そして、そのために貸与された奨学金は返還する義務があります。先輩奨学生の返還金が、後輩奨学生の奨学金として運用されるという循環の仕組みによって運営されています。従って、返還金が返還されないと、次代の奨学生の採用に重大な支障をきたすことになります。
奨学生ひとりひとりがこの制度の仕組みを理解し、責任をもって返還することが大切です。

あなたは、この返還の義務を理解できましたか？
ア　はい　　イ　いいえ

※注意事項：途中で退学された方は、退学後ただちに返還義務が発生します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">経済状況</td><td colspan="3">1. 学生生活費の状況は、奨学金申し込み時または前回の継続願提出時と比べて変わりましたか。
ア. 好転した　イ. あまり変わらない　ウ. 苦しくなった

2. 上記の問いに**ア**または**ウ**と答えた方は、その状況になった理由を記入してください。

----------</td></tr>
<tr><td colspan="3">3. あなたの2015年4月から2016年3月までの**収入に関する金額(見込み)**を記入してください。
(1)家庭からの仕送り(奨学金も含む)　〔　　〕万円
(2)アルバイト等の収入　〔　　〕万円
(3)その他(貯蓄等の取り崩しや臨時収入等)　〔　　〕万円

収入合計　〔　　〕万円</td></tr>
<tr><td colspan="3">3. あなたの2015年4月から2016年3月までの**支出に関する金額(見込み)**を記入してく ださい。

(1)学費(授業料や施設費等)　〔　　〕万円
(2)修学費(教科書、図書文具、通学費、課外活動費等)　〔　　〕万円
(3)生活費(家賃、食費、日用品等)　〔　　〕万円
(4)その他上記以外の費用(娯楽費等)　〔　　〕万円

支出合計　〔　　〕万円</td></tr>
</table>

裏面へつづく

<table>
<tr><td rowspan="4">本人記入</td><td>学校生活状況</td><td>この１年間の学生生活の状況などを記入してください。
（例：課外活動やボランティア活動等）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">学修の状況</td><td>この１年間の授業（講義）出席状況について、あてはまるものを選択してください。

ア．全部もしくはだいたい出席した。　　イ．ア以外
※イを選択した人は、その理由を具体的に説明してください。
〔理由〕</td></tr>
<tr><td>この１年間の学修に対する取組みの姿勢について、あてはまるものを選択してください。

ア．熱心に取り組んだ　　イ．取組みが不十分だった
※イを選択した人は、その理由を具体的に説明してください。
〔理由〕</td></tr>
<tr><td>この１年間の生活態度はどうでしたか。

ア．奨学生としてふさわしい生活態度であった

イ．奨学生としてふさわしくない態度がみられた</td></tr>
</table>

※　項目すべてに記入のうえ、捺印して提出ください。

注　この継続願を所定の期限までに提出しない場合は、奨学生としての資格を失い、貸与が停止します。
継続を希望しない場合は、「辞退届」を提出してください。

ご記入いただいた情報は、奨学金貸与業務の目的のために利用され、その他の目的には利用されません。

奨 学 金 継 続 願（保護者用）

公益財団法人玖珠郡育英会理事長　殿

平成　　年　　月　　日

新学年における奨学金の貸与の継続を希望しますので、下記のとおり報告いたします。

【学校名】

奨　学　生　氏　名	保　護　者　氏　名	印

保護者記入

返還の義務

この奨学金制度は、向学心にあふれ意欲と能力のある学生が、自らの意思と責任により学生生活を送れるよう支援するものです。

そして、そのために貸与された奨学金は返還する義務があります。先輩奨学生の返還金が、後輩奨学生の奨学金として運用されるという循環の仕組みによって運営されています。従って、返還金が返還されないと、次代の奨学生の採用に重大な支障をきたすことになります。

奨学生ひとりひとりがこの制度の仕組みを理解し、責任をもって返還することが大切です。

◆あなたは、この返還の義務を理解していますか？

ア　はい　　イ　いいえ

◆あなたは、この返還の義務について、奨学生である子どもさんに説明していますか？

ア　はい　　イ　いいえ

※イと答えた方は、ぜひ子どもさんにも説明しておいてください。

経済状況

1．家計を支えている人の昨年1年間の所得金額は、申込時と比較して変わりましたか？

ア．　好転した　　イ．あまり変わらない　　ウ．苦しくなった

2．上記の問いにアまたはウと答えた方は、その状況になった理由を説明してください。

3．**2014年4月から2015年3月まで**の奨学生に対する下記の金額を記入してください。

（1）貸与または給与を受けた奨学金の額　　〔　　〕万円

（2）学費（授業料・施設設備費等学校への納入額）　〔　　〕万円

（3）その他家庭からの仕送り（生活費等）　〔　　〕万円

奨学生の学修について

奨学生の、この1年間、学修に対しての姿勢をどう思っていますか。

ア．熱心に取り組んだ　　イ．不十分だった

奨学生の学校への出席状況はどうでしたか。

ア．すべてあるいはほとんど出席　　イ．ア以外

奨学生の生活態度はどうでしたか。

ア．奨学生としてふさわしい生活態度であった

イ．奨学生としてふさわしくない態度がみられた

イと答えた方は、それについて具体的に説明をしてください。またそれに対してどういうふうに対応をしましたか。

※　項目すべてに記入のうえ、捺印して提出ください。

注　この継続願を所定の期限までに提出しない場合は、奨学生としての資格を失い、貸与が停止します。

継続を希望しない場合は、「辞退届」を提出してください。

ご記入いただいた情報は、奨学金貸与業務の目的のために利用され、その他の目的には利用されません。